

日南市公共施設等総合管理計画改訂 第1回検討委員会概要

令和8年2月13日（金）に、日南市役所本庁舎にて「日南市公共施設等総合管理計画改訂第1回検討委員会」開催されました。

この会議は、将来にわたって日南市の公共施設を適切に維持・管理していくため、現行の総合管理計画を見直すことを目的に開催されたものです。

会議では、まず事務局より、計画改訂の目的やこれまでの経緯が説明されました。

また、業務委託事業者からは、国の公共施設政策や日南市の現計画の内容、そして今回の改訂における主なポイントが示されました。

市の自治会長や事業所から推薦を受けた委員からの主な質疑応答では、前回の公共施設等総合管理計画（平成29年3月策定）において、掲げられた「延べ床面積の10%の削減」の目標に対し、すでに8%を達成しているものの、人口減少や施設の老朽化が進む中、依然として公共施設の数が多いという共通認識が確認されました。

委員からは、人口減少が更に加速することを踏まえ、今後の削減目標のあり方について検討すべきとの意見や、施設の稼働率、利便性、耐震性などを総合的に考慮した再編の必要性が指摘されました。

特に、利用されていない公営住宅の除却が費用面の課題から進まない現状や、老朽化した建物が残存することで「施設が減っていない」と市民に見られてしまう点が課題として挙げられました。

一方で、施設の廃止だけでなく、外国人労働者向けの活用など、新たな利活用を模索する視点も提案されました。

事務局からは、本会議が個別の施設に関する具体的な議論ではなく、公共施設全体の「方針」や「大枠の方向性」を定める場であることが説明されました。

今後は、日南市の財政状況も踏まえながら、全体で何パーセント削減するのか、あるいは別の観点から目標を設定するのかなど、公共施設の最適なあり方について検討していく方針が示されました。

また、具体的な施設の改修や解体、利活用といった取り組みについて、今後策定される「個別施設計画」において、各担当課が地域住民と協議しながら進めていくことが確認されました。

日南市では、子どもや孫の世代に過度な負担を残さないため、将来を見据えた公共施設の

適正化を目指しています。

今後も、委員会での議論内容を市ホームページにて随時公開し、市民の皆様にお知らせしてまいります。

○日南市公共施設等総合管理計画改訂検討委員会の委員は次の方々です。

- 1 日南市 副市長
- 2 日南市自治会連合会 酒谷地区会長
- 3 日南市自治会連合会 東郷地区会長
- 4 日南市自治会連合会 吾田地区会長
- 5 日南市自治会連合会 北郷地区副会長
- 6 日南市自治会連合会 南郷地区副会長
- 7 日南商工会議所 事務局長
- 8 北郷町商工会 事務局コーディネーター
- 9 南郷町商工会 事務局コーディネーター
- 10 はまゆう地区本部 企画管理部長
- 11 日南市漁業協同組合 参事